

山古志村民に

# 心癒やす 音楽の調べ

## バイオリン奏者 川島さんが避難所で演奏

イギリスを拠点に世界各地で活躍しているバイオリニストの川島成道さん(三)が十、十一の両日、長岡市内を訪れ、山古志村の被災者が避難している六カ所の避難所でコンサートを開き、被災者を激励した。

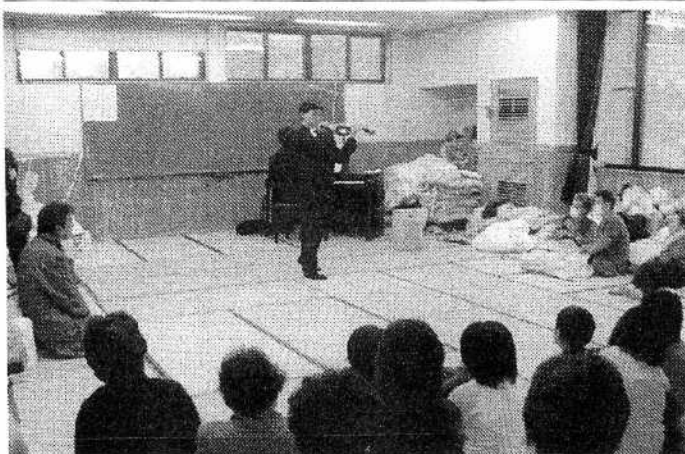
川島さんは病気や障害などでクラシックの演奏会に行くのが困難な人たちに生の音楽を聞いてもらおうと、各地で開かれる公演に合わせて、福祉施設などを訪れ、チャリティコンサートを行っている。十日午後四時から長岡工業高校の避難所で約一時間にわたり、バイオリン演奏や自身の体験を話し、被災者たちを励ました。ブラームスの「ハンガリー舞曲」やグノーの「アヴェマリア」などを演奏。

山古志村の住民らは集中して一曲一曲の演奏に聞き入った。バイオリンの美しい音色が約二十日間の避難所生活の疲れを和らげたかのように感じられた。

川島さんは「いつ余震が来るかわからない状況の中で、衣食住ではなく勇気、生きていく力を被災者に少しでも与えたい。今回、初めてバイオリンの音を聞いてくれた人もいた。演奏を聞いてくれたことで逆に、私は力をいただいた感じがする。印象的な演奏だった」と話していた。

川島さんは八歳のとき

また、国内外で弱者に光を与えるコンサートを実施。医療と福祉施設に「命の輝き」チャリティプログラムを展開している。



避難中の山古志村民の前で演奏する川島さん